



## お子さんの発達を支援されている皆様へ

災害による影響を受けている皆様、ならびに感染症による影響を受けている皆様には心よりお見舞い申し上げます。

新しい年を迎え令和8年になりました。昨年も関係者の皆様にはたくさんのご支援を賜り心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は丙午、「行動力」「情熱」「推進力」が高まる年とされ、積極的に新しいことへ挑戦するのに適した時期だそうです。新しいことへの挑戦には緊張も伴いますが、新たな可能性が芽生える機会かもしれません。皆様は今年何かに挑戦されるでしょうか・・・皆様の新たな挑戦が夢と希望に繋がることを祈っております。

### 特徴から特長へと変わっていくために

#### 【特徴と特長】

「特徴」は他と比べて際立った点です。そのため、発達に支援を必要とするお子さんの場合には様々な困難さがそのお子さんの特徴として挙げられることが多く見られています。「特長」は特別な長所ですが、生活上の困難さの方が見られる幼児期には、特徴が特長へと変わる可能性が見えにくいかもしれません。

#### 【特徴と問題行動】

時に、お子さんの特徴として「問題行動」が挙げられることがあります。この問題行動には「環境」が影響していることが少なくありません。自閉スペクトラム症のお子さんが示している問題行動に対する対応については、構造化、視覚化、パターン化など書籍等でも多くの知見が示されており、支援方法が確立してきています。

#### 【自閉スペクトラム症のお子さんの特長】

では、問題行動が無くなれば特長は自然に育っていくのでしょうか。社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さん、特に自閉スペクトラム症の特徴のあるお子さんの場合、興味関心が強い事柄について優れた力を発揮することやこだわりとして表現されることがありますが、社会の中でその力を特長として発揮するためには、他者からの期待に応えていく必要があります。そのためには、特徴から特長へと変わるよう、取り組み方やマナー等を「周囲の人から習う機会」が必要です。

#### 【期待に応えていくということ】

「期待に応えていく」ということは、まだやったことがない行動をやってみようとするということ、言われながら今やっている行動を繰り返し修正していくことが求められます。どちらの行動も社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さんにとっては負担の高い課題です。この課題にポジティブに取り組むためには、「ほめられる回数が増える」「やりとりが続き、回数が増える」「相手に促されて行動を変えていける」ような環境を、お子さん一人ひとりの特徴に合わせて支援者が事前に用意することが必須となります。

#### 【自閉スペクトラム症のお子さんとのやりとり】

対人関係や社会的コミュニケーションに困難さのあるお子さんにとって、他者とのやりとりには困難さが伴います。「相手からの働きかけを待つこと」「働きかけに気づくこと」「注意を向け続けよく観察すること」「相手からの働きかけを理解すること」「タイミングよく相手に応えること」「ほめられながら繰り返し取り組むこと」などが求められるからです。そのため、このような行動を獲得できるよう、お子さんの認知特徴や行動特徴に合わせて対応アイデアを見つける必要があります。「いつ」「どこで」「何をを使って」「どのように」等、お子さんに合う環境を一人ひとりに合わせて見つけていきます。

#### 【教材が果たす役割】

社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さんとのやりとりでは「教材」を媒介にすることが有効ですが、お子さんが教材に取り組むことが目的ではなく、他者とのやりとりが増えるように、期待に応える行動がほめられるように、支援者が教材を扱う必要があります。

## ※特長の発揮に向けて～作品編※

「細かい違いによく気づく」「並べたい、揃えたい」「いつも同じ状態にしておきたい」「同じことを繰り返す」「特定の感覚を好む」「仕組みに関心が強い」等、これらは生活上の困り事として挙げられることが多いのではないのでしょうか。これらの特徴も、社会の中にある別の活動に置き換えることにより、正確さや緻密さのように「特長」として発揮することができます。

社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さんは、一定の法則や感覚的な心地よさを好む特性があります。一人ひとりのお子さんの見分ける力、物を操作する力を使って、お子さんの好みの結果が得られる活動に取り組むことにより、特徴は特長へと変わっていきます。この特長は手工芸品等の作品作りで発揮されています。

手工芸品は高度な物になると、針やはさみ、カッターや工具など、お子さんが取り扱う際に危険を伴います。そのため、「他者とのやりとり行動」を獲得していることが必須です。手工芸品は扱いにくい素材が多いため、正確さや丁寧さなども教材等を使って事前に獲得しておく必要があります。手順書や対応表が使えると、より高度な活動に取り組めることでしょう。達成まで時間がかかるものは、地道な取り組みを支える「計画の共有」が必要ながあります。

今回ご紹介する作品は、幼児期から通われていた方(M.Tさん 21歳)が成人になられた現在、日々地道に取り組まれたものです。特徴が特長へと変わり、素晴らしい作品が完成しました。



シールパズルブック プティック社  
「～世界の美しいランドマーク～」  
番号通りにシールを貼り作品を  
完成させます



グラスデコ ヤマト株式会社  
「クリスマスオーナメントセット」  
細かい部分もはみ出ないように  
空気が入らないように色を塗ります



クロスステッチ 株式会社ルシアン  
「暮らしが華やぐ季節の楽しみ」  
方眼のマス目に描かれた図面を  
参照しながら刺していきます

説明をお聞  
きになりた  
い方は…

「説明会(無料)」にお申込みください

※オンライン(ZOOM)にてお聞きいただけます

※当センターの方針や具体的な取り組みについてご紹介いたします



ご相談を  
ご希望の  
方は…

「事前相談(無料)」にお申込みください

※来所またはオンライン(ZOOM)にてご相談できます

※ご希望に応じて当センターの方針や具体的な取り組みについてもご紹介いたします



**お問合せ・お申込みは下記までご連絡ください**

電話受付時間 火曜～土曜 9:00～16:00

子ども療育相談センター直通 **03-3986-7060**



【発行元・連絡先】

公益財団法人 明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター

〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10

発行日 2026年1月24日



わかたけ通信は  
ホームページにも  
掲載しています